

2011年(平成23年)度 事業報告

2011年(平成23年)4月1日から2012年(平成24年)3月31日まで

(1) 交響楽に関する公演・講習会等の開催

①「オーケストラの日 2012」の実施。

オーケストラの普及、浸透を図るため3月31日を「オーケストラの日」として、2012年(平成24年)3月31日(土)を中心にその前後で加盟するオーケストラが、演奏会のほか公開練習、バックステージ見学、楽器体験、指揮体験など様々なイベントを実施し、オーケストラを身近に親しんでもらうきっかけを創る取組をした。

☆地方オーケストラ

全国の加盟オーケストラが工夫を凝らし様々な取り組みをして、延べ1万2千名の人たちを動員した。「オーケストラの日」の広報活動に加え社会貢献活動にも役立ったとの報告もある。

☆首都圏オーケストラ 3月31日(土)

群馬交響楽団も加わった13団体で「オーケストラの日祝祭管弦楽団」を編成しコンサートを実施した。また、午前中からロビーでは「オーケストラ広場」と銘打って各オーケストラがそれぞれブースを出展しPRとグッズの販売を行った。またバックステージツアー、会場練習の公開、楽器体験やステージ上では指揮者体験などを実施した。

- ・助成：ロームミュージックファンデーション
- ・協力：東京文化会館、ヤマハ、全音楽譜出版社、松尾楽器商会、モモセハーブシコード

会場：東京文化会館 イベント 11:00 ~ 16:30
 コンサート 18:00開演

- ・イベント 延べ来場者数 3,950名
- ・コンサート 入場者数 2,147名 チケット販売数 2,245枚

② 文化庁主催「アジア オーケストラ ウィーク 2011」の制作。

文化庁芸術祭主催公演の一環として開催され第10回目となった本年は「大震災からの復興〜わかちあうシンフォニー」をコンセプトに、被災した2つの地域のオーケストラといち早く日本支援のためのチャリティコンサートを展開した韓国のオーケストラを招聘した。

10月2日(日) テグ市立交響楽団(韓国)

3日(月) クライストチャーチ交響楽団(ニュージーランド)

4日(火) 仙台フィルハーモニー管弦楽団

会 場 : 東京オペラシティコンサートホール

5日(水) クライストチャーチ交響楽団/仙台フィルハーモニー管弦
楽団 合同演奏会

会場： 仙台市青少年文化センター

・入場者数	東京公演	2日	1,015名	うち有料入場者数	353名
		3日	1,012名	うち有料入場者数	426名
		4日	1,141名	うち有料入場者数	553名
	仙台公演	5日	447名	うち有料入場者数	363名
総入場者			3,615名	うち有料入場者数	1,695名

③シンポジウムを開催した。

「オーケストラとカーネギーホール」

ゲスト：クライブ・ギリソン(カーネギーホール総支配人)

9月29日(木) 日本財団 会議室

(2) 青少年に対する交響楽の普及

①東日本大震災復興支援

「青少年育成基金」と公益財団法人東京オペラシティ文化財団と財団法人日本音楽財団からの寄附金やヘルシンキからの寄附金、アマチュア・オーケストラの江東フィルハーモニー管弦楽団からの寄附金などを活用して、東日本大震災被災地の学校にオーケストラの楽員を派遣し、音楽による心の復興に取り組むこととしていたが、本年は公益財団法人ロームミュージックファンデーションと財団法人アフィニス文化財団が復興支援活動に厚く助成金を拠出いただいたため、これを活用させていただくこととし、連盟を通じた篤志は次年度に活用することとした。

被災地からの要望と派遣可能なオーケストラをコーディネートするなどして加盟のオーケストラが実施した支援コンサートは延べ190公演を越す。これらとは別に仙台フィルハーモニー管弦楽団の復興コンサートは200回を超えている。

② 東京都との共催による「子どもたちと芸術家の出あう街 2012」の制作に協力した。

2012年(平成24年)3月31日(土) すみだトリフォニーホール

企画・演奏 新日本フィルハーモニー交響楽団

(3) プロ・オーケストラの運営に関する調査研究

①「日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑 2011」を発行した。

- ・文化庁委託事業「平成23年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
- ・助成：実演家著作権隣接権センター CPRA

②ライブラリアン会議、ステージマネジャー会議を開催した。

- ・ステージマネジャー会議 8月 9日(火) りゅーとぴあ(新潟)
- ・ライブラリアン会議 9月26日(月) 東京オペラシティ

(4) 交響楽に関する人材育成

①インターンシップの実施

音楽大学、一般大学と協同して、オーケストラ・マネジメントのインターンシップ制度を推進した。応募15名のうち9名の学生を群馬交響楽団、静岡交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団で受け入れて研修させた。

②アフィニス文化財団が開催する「アフィニス夏の音楽祭」に協力した。

8月21日(日)～28日(土) 広島

(5) 交響楽に関する国際交流

①「アジア オーケストラ ウィーク」の出演交渉、下見等のため加納民夫/事務局長が出張し情報交換をした。

- ・5月19日(木)～22日(日)
ニュージーランド/クライスチャーチ市 クライストチャーチ交響楽団
- ・6月2日(木)～4日(土)
韓国/テグ市 テグ市立交響楽団

②「第8回アジア太平洋地域オーケストラ・サミット」に参加した。

2011年9月8日(木)～11日(日) モスクワ

参加者：大野 順二(東京交響楽団 専務理事・楽団長)
野崎 明宏(大阪センチュリー交響楽団 常務理事・事務局長)
松本 由紀(大阪交響楽団 広報課長)
名倉 真紀(日本オーケストラ連盟 マネジャー)

(6) その他目的を達成するために必要な事業

- ①「日本オーケストラ連盟ニュース」を第78号から80号まで発行した。
- ②インターネットを活用した広報を充実させ、オケ連ホームページで各オーケストラの諸事業の告知をはじめ関連する情報の掲載に努めた。
- ③文化予算の増額を求める国会請願署名運動の第2弾となる「もっと文化を！」

2012」に芸団協を中心に他の芸術団体とともに取り組み、全体で10,818筆のうち日本オーケストラ連盟は2,777筆を集めて、音楽議員連盟に所属する国会議員に委託した。

<会議の開催>

○理事会、総会 計3回

第33回	6月16日(木)	福岡	アクロス福岡
臨時	11月15日(火)	東京	NHK 青山荘
第34回	3月12日(月)	東京	NHK 青山荘

○運営委員会 第156回 ~ 第163回、臨時 1回 計9回

4月20日(水)、5月23日(月)、7月12日(火)、9月27日(火)、
10月19日(水)、12月6日(火)、12月13日(火)、1月30日(月)、
2月21日(火)

運営委員：宮澤 敏夫・専務理事 (札幌交響楽団)
五十嵐靖男・理事 (群馬交響楽団)
桑原 浩・理事 (新日本フィルハーモニー交響楽団)
坂田誠一郎・理事 (読売日本交響楽団)
敷島 鐵雄・理事 (大阪交響楽団)
鈴木 貞治・理事 (大阪フィルハーモニー交響楽団)
並川 哲男・理事 (京都市交響楽団)

その他の出席者

児玉幸治／理事長、金山茂人／副理事長、田邊 稔／副理事長、
支倉二二男／常務理事、加納民夫／理事・事務局長

○地方オーケストラ連絡会 計3回

6月15日(水)	福岡	アクロス福岡
11月16日(水)	東京	NHK 青山荘
3月13日(水)	東京	NHK 青山荘

○首都圏オーケストラ連絡会 第350回 ~ 第357回 計8回

4月14日(木)、5月17日(火)、7月11日(月)、9月14日(水)、
10月17日(月)、12月2日(月)、1月30日(月)、3月5日(月)、

○地方オーケストラ連絡会・首都圏オーケストラ連絡会合同会議 計3回・4日間

6月17日(金)	福岡	アクロス福岡
8月25日(木)、26日(金)	広島	アステールプラザ
3月13日(火)	東京	NHK 青山荘

○首都圏「オーケストラの日」実行委員会 計8回

7月28日(木)、10月12日(水)、10月31日(月)、11月7日(月)、
11月29日(火)、1月16日(月)、2月24日(金)、3月23日(金)、

<オーケストラの振興のため、外部の委員会・協議会等の活動に協力した。>

- 芸術家会議「常任幹事」として支倉二二男常務理事が参加している。
- 芸団協「芸術団体の公的支援の研究会」に、支倉二二男常務理事と加納民夫事務局長が参加した。
- 芸団協「芸能文化振興委員会」委員として桑原 浩／新日本フィルハーモニー交響楽団事務局長が参加している。
- 「文化芸術推進フォーラム」委員として支倉二二男常務理事が参加している。
- アイニス文化財団「評議員」として支倉二二男常務理事が参加している。
- ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「実行委員」として支倉二二男常務理事が参加している。
- 「日本管打楽器コンクール」運営副委員長として支倉二二男常務理事が参加している。
- 演奏家権利処理合同機構(MPN)の「クラシック委員会」委員として工藤真実／東京フィルハーモニー交響楽団常務理事・事務局長と支倉二二男常務理事が参加している。
- 平成23年度文化庁長官表彰選考委員として支倉二二男常務理事が参加した。
- 芸団協「役員推薦委員会」委員長として支倉二二男常務理事が参加した。
- 墨田区文化振興財団「評議員選考委員会」委員として支倉二二男常務理事が参加している。

<関係団体への協力>

- 「日本音楽芸術マネジメント学会」に参加している。
- 東京都と東京都歴史文化財団が実施する東京文化発信プロジェクトの一環として開催する「ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー」の実行委員会に東京都交響楽団とともに参加した。

<公益法人への移行認定オーケストラ> (2012年5月末日現在) 順不同

- 公益財団法人 札幌交響楽団
- 公益財団法人 NHK交響楽団
- 公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団
- 公益財団法人 東京交響楽団
- 公益財団法人 東京都交響楽団
- 公益社団法人 広島交響楽協会 (広島交響楽団)

公益財団法人 日本センチュリー交響楽団
公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団
公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会（大阪フィルハーモニー交響楽団）
公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団
公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団（京都市交響楽団）
公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
公益社団法人 山形交響楽協会（山形交響楽団）
公益財団法人 読売日本交響楽団
公益財団法人 兵庫県芸術文化協会（兵庫芸術文化センター管弦楽団）

以上 15団体